ながさき よか川マップ

「ながさき　よか川マップ」は、長崎伝習所　川さるく　森川里海塾の塾生が平成21年・22年の2年間の塾活動として行った、長崎市周辺の「川さるく」の成果として、市民の皆さんに「ながさきのよか川」を紹介するために制作しました。

自然がたくさんあって川遊びができる川だけでなく、地元の人がホタルなど川の生き物の生息できる環境を守ったり、川を美しくする為の活動をしている川も「よか川」として紹介しています。

今後は、ここに紹介されていない川でも、自分たちの川を守り育てる活動を始めて頂き、「ながさきのよか川」がもっとたくさん増えることを期待しています。

本文中、河川の名称は、長崎県及び長崎市が使用する河川名の他、地元で呼ばれている川の名称も使用しています。

又、川や周辺の生き物、植物、野鳥類の名称は、できるだけ正式な名称を使用していますが、日常的な呼び方がわかりやすいものについては、通称の呼び方で表示しています。（ミナミテナガエビ→テナガエビ等）

制作・著作　長崎伝習所　川さるく　森川里海塾

川の生き物

ホタルの生息地

- ゲンジホタル
- ヘイケホタル
- ヒメホタル

ハヤ、ハエ、ヤマブキ って、どんな魚？

長崎周辺では、川の上・中流に生息する小型の淡水魚を一般にハヤ、ハエ、ヤマブキなどと呼んでいる。これは、特定の魚類の名前では無く、長崎周辺の川でよく見かける、姿かたちの似たコイ科の淡水魚「カワムツ」「オイカワ」「タカハヤ」のことをこう呼んだのではないかと思われる。

川辺から見るとその動きや外観が同じように見えても、実は、それぞれ種類が違い、生息環境や姿も異なっているので、ここに3種類の淡水魚を紹介することにしました。

カワムツ *Nipponocypris temminckii* コイ目コイ科ダニオ亜科カワムツ属

長崎の多くの河川の中・上流部で最も一般的に見られる淡水魚。

若魚やメスは体側から腹部にかけて銀白色だが成体のオスはのどから腹にかけて赤く、婚に追星がある。

成魚は全長10-15cmほどで、大型のオスでは全長20cmに達し30cm近くなることもある。川や湖沼などに生息するが、オイカワよりも水がきれいで水流が緩い所を好む。岸辺の植物が水面に覆いかぶさったような所に多く、人が近づくとすばやく深みの陰へ逃げこむので、動きが速いことから「ハヤ」と呼ばれたと思われる。

オイカワ *Zacco platypus* コイ目コイ科ダニオ亜科オイカワ属

川の中流域から下流域にかけて生息し、カワムツと分布域が重複するが、オイカワは水流が速く、日当たりのよい場所を好む。成魚は全長15cmほどでオスは5月から8月頃婚姻色が現れる。

またカワムツに比べると水の汚れに強く、河川改修され生活排水が流れこむ都市部の河川にも生息する。

オイカワを初めてヨーロッパに紹介したのは長崎に赴任したドイツ人医師シーボルトで、オイカワの属名"Zacco"は日本語の「雑魚」（ザコ）に由来する。

タカハヤ *Phoxinus oxycephalus jouyi* コイ目コイ科ウグイ亜科ヒメハヤ属

長崎の河川の渓流部に生息し、流れが緩くなった淵や淀みに集まる。カワムツより上流に生息するが、生息域はカワムツより少ない。

成魚は全長10cmほどで、前後に細長い紡錘形をしている。体色は暗褐色で、体側は銀い金色の小点が散在する。鱗は細かく、体表はぬめりが強い。

魚勾配で他の淡水魚が少ない小河川では河口近くまで見られることもある。川の本流のみならず、清水が流入する池や用水路等にも生息する。

長崎県でよくみられるホタル

ゲンジボタル

川でみられるホタルの多くはゲンジボタルです。2秒に1回光ります

体の大きさと発光器の数
オス 15mm台 2個
メス 18mm台 1個

ヘイケボタル

田んぼなどにすんでいるホタルです。1秒に1回光ります。

体の大きさと発光器の数
オス 10mm台 2個
メス 12mm台 1個

ヒメボタル

林の中などにすむ小さなホタルです。0.5秒に1回ピカッ、ピカッと光ります。

体の大きさと発光器の数
オス 7mm台 2個
メス 8mm台 1個

ゲンジボタルの一生

ゲンジボタルの生活史

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サナギ	成虫	卵	幼虫								

長崎県におけるゲンジボタルの生活サイクル

ながさき よか川マップ

「ながさき よか川マップ」は、長崎伝習所　川さるく　森川里海塾の環境整備として行った、長崎県内初の「川さるく」の成果として、市民の皆さんに「ながさきのよか川」を紹介するために制作しました。

自然がたくさんあって川遊びができるだけでなく、地元の人がカヌーやカヌーなどの生き物の生息できる環境を守ったり、川を美しくする為の活動をしている川も「よか川」として紹介しています。

今後は、ここに紹介されていない川でも、自分たちの川を守り育てる活動を始めて頂き、「ながさきのよか川」がもっともっと増えることを願っています。

本文中、川の名称は、長崎県及び長崎市が使用する河川名の他、地元で呼ばれている川の名称も使用しています。

又、川や魚類の生息域、個体、群集数の名称は、できるだけ正式な名称を使用していますが、日常的な呼び方がわかりやすいものについては、通称の呼び方で表示しています。（ミナミテナガエビ・テナガエビ等）

制作・著作　長崎伝習所　川さるく　森川里海塾

1 鹿尾川（かのおがわ）

自然がいっぱいで川遊びができる川

場所	佐崎市三和町、西海町　三和橋より上流部鹿尾ダムまで
流域	佐崎半島中央部の有喜子岩付近から小ヶ倉ダム、新戸町の住宅地を通る1本、八郎岳付近を源流とする2本の川が鹿尾ダムで合流し、長崎港口にそそぐ川
川の紹介	鹿尾ダム下流の約1kmまでの区間は自然の護岸が残っており、長崎で一番自然が残った川。水温も日が下の範囲は最高。 古くからよりダムの生息地として知れており、6月初めには川の上のゲンゴロダムと、川の中にヒメホタルが飛び場所で見られ、幻想的な風景が広がっている。 夏には子供たちが川遊びを楽しんでいる。 川沿いはウォーキング、ジョギング、サイクリングのコース。
活動グループ	三和町ふるさとづくり委員会 （川の清掃、環境保全活動、子供の環境学習等）
森川里海塾コメント	長崎で一番自然の残った川を地元だけでなく、市民みんなで守っていきましょう。

鮎火（1月）
ホタルまつり（6月）
蛍追い観賞会（7月）

カワムツ、テナガエビ、カワアナゴ、アユ、モクズガニ、エビ類　等

魚類、昆虫類、植物が豊富に生息

アクセス
長崎バス　土井ノ尾バス停から川沿いに徒歩10分程
土井ノ尾バス停徒歩5分程長崎方面へ渡り信号を右折1km

2 大川・八郎大川（おおかわ・はちろうおおかわ）

八郎岳からの清流が流れる川

場所	長崎市平山町
流域	八郎岳の南側を源流として、山間部から平山町の住宅地、布巻町の元富公園橋を経由して天草灘にそそぐ川
川の紹介	平成14年、長崎市の「よみがえる川整備事業」により、川の護岸工事等を自然川づくりの方法を参考にされ、自然がいっぱいの川となっている。 八郎岳から流れ出る、冷たな水の流れとせせらぎの音はとてもいやしてくれる。5月下旬にはホタルの飛翔も見られるようになった。 この川の上流には、市民農園があり長崎市民の楽しみの場となっている。 シラサギ、カワセミ等野鳥がよく見られる。
森川里海塾コメント	よみがえった自然の川を、地元の皆さんで守り育ててください

アクセス
長崎バス　平山バス停から市民農園方面へ5分程歩4分程　平山バス停から徒歩約600m

3 大川・為石大川（おおかわ・ためしおおかわ）

公園に隣接した自然いっぱいの川

場所	佐崎市為石町　元富公園橋付
流域	八郎岳の南側を源流として、山間部から平山町の住宅地、布巻町の元富公園橋を経由して天草灘にそそぐ川
川の紹介	八郎大川下流でアユやカワムツ等川の生き物が多い 八郎岳麓橋から三和中学校までが川沿いに遊歩道があり、自然の中の散策路、ジョギングのコースとなっている。 春には元富公園で桜やツツジが満ち、5月下旬にはホタルも飛んでいる。 為石町から県道34号線を渡木方面へ約4km程の鹿田尾町の山中には、ほぼきれいな流れ、いわれる本ぞ谷の滝（つつみのたき）がある。
活動グループ	川辺育大切に楽しくする会 （川の清掃活動、ホタルの生息環境保全）
森川里海塾コメント	きれいな川と周辺の施設が一体となって楽しめるような場所として、環境を守っていきましょう。ホタルの鈴周のライター照明を控えたりたいですね。

アクセス
長崎バス　野母崎、脇岬、同屋方面行
元富公園又は元富入口バス停下車すぐ
国道499号線野母崎方面へ、有喜町交差点を為石橋から入る

川の生き物

ホタルの生息地

- ゲンジホタル
- ヘイケホタル
- ヒメホタル

ハヤ、ハエ、ヤマブキ って、どんな魚？

長崎地区では、川の上・中流に生息する小型の淡水魚を一般にハヤ／ハエ、ヤマブキなどと呼んでいる。これは、特定の魚類のもとを示すと、長崎周辺の川でよく見かける、並かたちのなだコイ科の淡水魚「カワムツ」「オイカワ」「タカハヤ」のことをこう呼んだのではないかと思われる。

川ごとから見るとその魚さや外観が微妙に異なっているので、ここにそれぞれ種類が違い、生態環境や習性が異なっているので、ここに3種類の淡水魚を紹介することにしました。

カワムツ　Nipponocypris temminckii　コイ目コイ科ダニオ亜科カワムツ属

長崎の多くの河川の中・上流部で最も一般的に見られる淡水魚。

婚姻やメスは体側から婚姻にかけて婚白色だが成熟のオスはのどから腹にかけて赤く、縁に縁縁がある。

成魚は全長10-15cm程ほどで、大きなオスでは全長20cmに達し30cmくなることもある。川や湖沼などに生息するが、オイカワよりも水がきれいで水流が緩い所を好む。稚魚の頃幼が水面に覆いかぶさったような状所に多く、人が近づくとすばやく反転の陰へ逃げこむので、動きが速いことから「ハヤ」と呼ばれたと思われる。

オイカワ　Zacco platypus　コイ目コイ科ダニオ亜科オイカワ属

川の中流域から下流域にかけて生息し、カワムツと分布域が重複するが、オイカワは水流が速く、白濁なのよい場所を好む。成魚は全長15cmほどでオスは5月から6月頃婚姻色が現れる。

またカワムツに比べるとあまり汚れに強く、汚れ度合いが進む生活排水が流れこむ都市部の川にも生息する。

オイカワを初めてヨーロッパに紹介したのは長崎に赴任したドイツ人医師シーボルトで、オイカワの属名"Zacco"は日本語の「ハヤ」がコロに由来する。

タカハヤ　Pinkney's torrent-dace jewel　コイ目コイ科クヴィー亜科ニゴイ属

長崎の河川の源流部に生息し、流れが緩くなった場所などに集まる。カワムツより上流に生息するが、生息域はカワムツより少ない。

成魚は全長10cm程ほどで、婚姻に婚色い婚婚をしている。体色は婚褐色で、体側は青い金色の中の点在する。幅は細かく、体表はぬめりが多い。

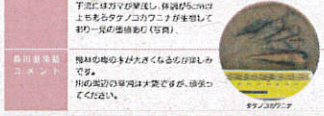
急な変化で他の淡水魚が少ない中流川では比較的に多く見られることもある。上流の水温のみならず、濁水が流入する地や周辺婚婚等にも生息する。

長崎県でよくみられるホタル

4 宮崎川（みやさきがわ）

梅林のある河川公園

場所	長崎市宮崎町（日ノ和町宮崎）長崎ダム付下流
流域	長崎半島南部、旧日ノ和町宮崎の山中から流れ出た川は、長崎県内では珍しいアース式ダムの宮崎ダムを経由し、長崎港北部にそそぐ川
川の紹介	宮崎ダム下から月下橋ごと鎖石の水ダムが点在する。 川沿いは公園になっており、梅林、もみ、クヌジがある。 川の水深はほぐ小さいが子でも安全に遊ぶことができる。しかし急いのため注意して下さい。 上流にはアユ、ウナギ、カワニナが生息しており、ホタルの生息地もあり（写真）。
森川里海塾コメント	梅林の地のもが大きくなるが楽しみです。 川の周辺の草地は大変ですが、頑張ってください。



タテノコガワニナ

アクセス
長崎バス　川原行一宮崎下車　宮崎ダムへ、
国道499号線を野母崎方面へ、川沿いの宮崎上流方面を左折、宮崎橋を渡ってすぐ右折沿いに上流へ宮崎ダム手前

流の名所

「川さるく　森川里海塾」では、長崎市内周辺の川を見てまわる（「川さるく」の中で長崎市指定にいくつかの走ちらい）滝を発見しました。地図にも載っていない、これまであまり知られることのなかった滝を紹介します。どの川も、里場、野行の楽しむ川として有効な川ばかりです。心静かに訪れてください。

㉑ 津々谷の滝　長崎市鹿田尾町
羽三郎地石から千々石岳へ約4kmの山中に位置にたたずむ滝の滝。
一段の滝の水が高さ20mを落下する滝が美しい。

㉒ 観音山観音寺の滝　長崎市鹿田尾町
鹿尾川の鹿尾ダムの下流にある真言宗の寺院の中にある滝。八十八代の滝と名称されている。
修行の場としても有名な所。心が洗われるような水の音が響く。

㉓ 鼻の滝　長崎市田手原町
若葉川の上流。昔は町に向かって最長バス停を過ぎて右に下る。江戸時代の「自着名勝絵図」にも紹介された名所だが、あまり知られていない幻の滝。
石組を滑り落ちる力強い水音が神秘的。

㉔ 滝の観音の滝　長崎市平間町
滝の観音の上流。男よりも長崎バスに向かって左を曲がり「滝の観音」長崎山登頂の中にある滝。伝説大師が「行」を行ったという日本最古の霊場。岩の根、杉の林様がすばらしい。

5 黒崎永田湿地自然公園・川下川（くろさきながたしっちしぜんこうえん・かわしもがわ）

全国でも珍しい湿地公園

場所	長崎市永田町（川下川付）
流域	長崎県千珠の上地部から流れ出た川は、下流の永田地区で本社と一体となって湿地を形成している。
川の紹介	元々小さな川が「流れ」とよべるところを長年掘り続け、貴重な自然環境を保全しながら子供や大人まで、多彩な自然を体験できる湿原学習の場として整備したところ。 湿地の水面を流れながら、植物や生物を観察に見たり、触れたりすることができる。 川下川の下流は湿地と一体になっており、国内では珍しい湿地環境となっている。 絶滅危惧種となったメダカやアシシバなどの絶滅危惧種やトンボ、チョウなどを始め昆虫類が多く生息し、特にトンボの生息地として高い評価を受けている。長崎では数少ないハイタガルの生息地である5月中旬ごろから観察できる。
森川里海塾コメント	長崎市内にはほぼしい湿地公園です。大切にしましょう。

メダカ

アクセス
長崎駅より長崎バスさるくの里ターミナル行き終点まで50分。下車後おいかい交差点番号表、徒の場行き「永田西バス停」まで5分。下車後徒歩5分。
国道202号線を田ノ浦方面へ、
新長崎漁港、三重総合病院等手前。

6 神浦川（こうのうらがわ）

子供から大人まで川遊びができる川

場所	長崎市神浦（旧神浦町）神浦総合運動公園
流域	西彼杵半島中央部標高三千石山を源流とする本の川が神浦ダムで合流し、山間部を経由内湾へそそぐ
川の紹介	神浦ダムの下流に河川改修が整備され、子供から大人まで川に入って遊べる水づくりがなされている。 川は水深が浅く、子供たちがテナガエビや小魚を捕って遊んでいる。 小さい子供が遊べる川のプールもあり、夏には大くさんの家族連れでにぎわっている。 5月には鯉のぼりや、下旬にホタル見物が楽しめる。上流にはダムがあり、春の桜、秋の紅葉が楽しめる
活動グループ	神浦河童好会
森川里海塾コメント	遊び味子供たちが川遊びを楽しみにしている場所です。大切にしましょう。

7 河通川（こうつうがわ）：雪浦川水系

川遊びの穴場スポット

- 催物等：－
- 近隣の名所等：幸物川沿いの公園、県民の森、鯉治博物館、小田丹塚古墳、つがね落としの滝、雪浦海水浴場
- 川の生き物：カワムツ、アユ、メダカ、テナガエビ他エビ類、モクズガニ
- その他の生き物：ゲンジボタル、トンボ類、野鳥類等

アクセス
国道202号線を大瀬戸方面へ、雪川橋手前を右に入る約1km

場所	西海市大瀬戸町雪浦
流域	長崎県民の森付近を源流として山間部を流れ、雪浦川の河口付近で合流している。
川の紹介	きれいな水と川を利用したプールや飛び石が設置されており、子供の水遊びに最適。河岸には木陰もあり、過ごしやすい。水深も浅い所から深い所まであり、子供たちが水遊びをしたり魚を捕まえたりと地元に親しまれている。上流にはつがね落としの滝があり、夏の水遊びの穴場となっている。
森川里海塾コメント	自然がたくさん残った場所です。この自然はいつまでも大切に残しましょう。

アユ

河内プール　石遊び　つがね落としの滝

8 雪浦川（ゆきのうらがわ）

昔懐かしい河口干潟の残る川

- 催物等：幸物川まつり
- 近隣の名所等：県民の森、鯉治博物館、小田丹塚古墳、つがね落としの滝、雪浦海水浴場
- 川の生き物：アユ、フナ、ウナギ、テナガエビ、モクズガニ、エビ類
- その他の生き物：海浜植物のハマボウ、ゲンジボタル、トンボ類、野鳥類等

アクセス
国道202号線を大瀬戸方面へ、雪川橋を渡って右に入る約1km

ハクセンシオマネキ

場所	西海市大瀬戸町雪浦
流域	西彼杵半島中央部長浦岳付近を源流として雪浦ダムへ流れ込み、ダム下流を緩やかに流下し角力灘に注ぐ川。河口幅は約100mと広く、感潮区間は約4kmにも及ぶ。
川の紹介	昔はどこにでもあった河口干潟の原風景が今も残っており、ゆったりとした川の流れや周辺の水田、山並みなど自然を満喫できる素晴らしい景色が広がっている。干潟では、地元の人がハマグリを採取している姿が河口風景に色を添えている。そのまま残したい風景。干潟にはホウシャガイやハマグリ等の貝類や、ハクセンシオマネキが生息している。中でもハクセンシオマネキは県内でも珍しく、5月から7月にはオス独特のウェービング（ハサミ振り）が見られる。上流には雪浦ダムがあり、その上流には幸物（こうぶつ）河川公園があり、家族連れで川遊びが楽しめる。
森川里海塾コメント	河口干潟はいつまでも残したい貴重な風景です。

河口の干潟　幸物河川公園　幸物河川公園

9 多以良川・柳の浜海水浴場（たいらがわ・やなぎのはま）

ホタルの乱舞する川と美しい砂浜

- 催物等：－
- 近隣の名所等：七ツ釜鍾乳洞、柳の浜海水浴場
- 川の生き物：アユ、カワムツ、テナガエビ、モクズガニ、エビ類 等
- その他の生き物：ゲンジボタル

アクセス
長崎方面からは、国道202号線を西海市へ大瀬戸町多以良トンネルを出てすぐ右折し、川沿いに上流へ約1km

モクズガニ

場所	西海市大瀬戸町多以良
流域	西彼杵半島北部の山中を源流として流下し、西海市役所トンネル口付近の田園地帯を大きくカーブして北へ流れ、柳の浜海水浴場付近にそそぐ川
川の紹介	アユやモクズガニなどの遡上を助ける為の魚道が設備されており、上流部でもその姿を見ることができる。川の流域は田畑が広がり自然豊かな景観がみられる。上流部にはホタルの生息環境を守る為にホタルの里が整備され、5月下旬になるとたくさんのホタルが飛ぶ姿が見られる。【柳の浜海水浴場（多以良川河口）】青い海辺に砂浜が広がり、遠くに大島大橋を望む景色は絶景。
森川里海塾コメント	地元の皆さんでゲンジボタルが生息できる環境を守り育ててください。

ホタルの里河川公園　魚道　柳の浜海水浴場

10 戸根川（とねがわ）

桜並木とホタルがみられる清流

- 催物等：ほたるまつり
- 近隣の名所等：赤水公園、県民の森
- 川の生き物：アユ、カワムツ、ウナギ、コイ、ウキゴリ、シロウオ（河口）、ミゾレヌマエビ
- その他の生き物：ゲンジボタル、セキショウ

カキツバタ

アクセス
国道206号線を西海市方面へ、長崎市琴海手前から左折約500m

場所	長崎市琴海戸根町
流域	西彼杵半島中央部に位置する中ノ岳や長浦岳付近を源流とし、上流域では森林地帯を、中下流域では水田地帯を流下し、大村湾に注いでいる。
川の紹介	国道206号線から上流部では、地元住民によるほたるの里づくりが進められ5月下旬にはゲンジボタルが乱舞し、長崎周辺では一級の観賞場所となっている。河口付近から護岸上にはサクラが植栽されており、4月の開花時には桜並木となり、花見をしながらの散策に最適。上流部には自然石を用いた川の護岸や飛び石を設置するなど、自然と調和した川づくりが行われ、子供たちが川遊びできるよう整備されている。また、水辺には昔ながらの水車を利用したゴットン小屋（精米所）が復元されている。
活動グループ	戸根川ほたるの郷実行会
森川里海塾コメント	下流の桜、中流域のホタル、上流の自然の水遊び場どれも残したい風景です。地元の皆さんの努力に感謝します。

ほたるの郷付近　ほたるの郷 上流　ゴットン小屋

11 浦上川（うらかみがわ）

アユが遡上する市街地の川

- 催物等：原爆の日に「万灯流し」
- 近隣の名所等：平和公園、如己堂、浦上天主堂
- 川の生き物：ナマズ、ウナギ、アユ、オイカワ、テナガエビ
- その他の生き物：サギ類、カワセミ、ゲンジボタル

アオサギ　ヤナギバススムシソウ

アクセス
電車　赤迫方面行　岩屋橋電停下車浦上警察署方向へ約5分

場所	長崎市 大橋町
流域	長崎市の北東部琴海町の岩屋付近を水源とし長崎バイパス沿いに大隈、川平と山間を縫ながら流下し、大手町付近で式部橋尾地区を源流とする大井手川、三川地区を源流とする三川川と合流して市街地を緩やかに流れて長崎港の最深部にそそぐ。
川の紹介	市内で最大の川で、大橋付近には川の中に遊歩道が整備されている。近年は川の水質が改善され、アユの遡上も見られるようになっており、ナマズをはじめ、テナガエビなどを観察できる。原爆では数千人の方々が水を求めてこの川で亡くなられた。戦前につくられた石積み護岸は被爆遺構であり、一部は長崎大水害にも耐えて、今も残されている。上流の川平地区では西彼杵の露頭が見られ、5月にはゲンジボタルが飛んでいる。又、支流の三川川上流には観音滝として有名な轟の滝がある。
活動グループ	川に学ぼうかい in 浦上川
森川里海塾コメント	ビニールゴミ等も多く、地元の活動グループが苦労しています。みんなの協力できれいな川にしましょう

大橋付近　ホタルの里（川平地区）　轟の滝

12 下の川（しものかわ）：浦上川水系

平和を祈念する安らぎのある川を目指して

- 催物等：平和町商店街夏祭り（7月）
- 近隣の名所等：平和公園、平和祈念像、長崎原爆資料館、長崎原爆死没者追悼平和祈念館、浦上天主堂、如己堂
- 川の生き物：アユ、カワムツ、トウヨシノボリ
- その他の生き物：セキショウ

アクセス
【平和町商店街】路面バス　平和公園下バス停下車徒歩1分（平和公園線）

場所	長崎市平和町　平和公園東側入口付近
流域	西山町付近を源流として平和公園横を流れ、平和町で浦上川に合流する典型的な都市河川。
川の紹介	平成15年、長崎市の「よみがえる川整備事業」としてコンクリートの川底を撤去するなど多自然川づくりによる河川改修が行われ、川の中の自然が回復している。現在では、セキショウが繁茂しアユやカワムツの生息も確認され、地域住民や観光客の憩いの空間となっており、平和公園と一体となった安らぎのある風景を創り出している。
活動グループ	平和町商店街（川の清掃）、地球村の子ども
森川里海塾コメント	よみがえった川を地元の皆さんの手で守り育てる取り組みを期待します。

カラスアゲハとヒガンバナ

原爆公園付近　平和公園東側（改修後）　平和公園東側（改修前）

13 中島川・御手水川（なかしまがわ・おちょうずがわ）：中島川水系

日本一の石橋群が架かる川

- 催物等：ランタンフェスティバル
- 近隣の名所等：石橋群、出島和蘭商館跡、諏訪神社、シーボルト記念館、亀山社中
- 川の生き物：アユ、カワムツ、オイカワ、ナマズ
- その他の生き物：ゲンジボタル

ナマズ

アクセス
御手水川
国道34号線日見バイパス西口を日見トンネル方面へ入り、約500m先を右折橋を越えて右折し、約300m

場所	長崎市市街地・本河内水源地上流、日見街道下
流域	本河内の山間部と日見峠を源流として本河内水源地に流れ込む中島川本流（御手水川）が、諏訪神社下で西山川と合流し、市街地の石橋群の下を通り史跡出島の北から長崎港にそそぐ川。本河内水源地は明治時代に出来た日本最古の水道専用ダム。
川の紹介	中島川に架かる石橋群が有名で多くの観光客が訪れている。歌謡「長崎ぶらぶら節」で知られるようになった昔の名所「眼鏡橋」が有り、その地名が今も瓦葺の姿として昔のなごりを残している。長崎大水害で壊滅的な打撃を受けたが、現在では石橋群の復元や、河川改修も終わり水質も改善されたことからアユの遡上も見られるようになっている。毎年2月のランタンフェスティバルでは、水面に映ったランタンが美しい景観を作り出し、新たな観光のスポットになっている。【御手水川】中島川の上流、本河内水源地に流れ込む川で5月中旬にはゲンジボタルが見られる。平成元年4月環境庁から「ふるさといきものの里」に認定されている。
活動グループ	伊良林小学校ホタルの会
森川里海塾コメント	長崎の観光名所の川です。ゴミのないきれいな川にしましょう。

中島川の石橋群　眼鏡橋とランタンフェスティバル　本河内低部ダム（明治）

14 西山川（にしやまがわ）：中島川水系

ホタルの里

- 催物等：ホタルまつり
- 近隣の名所等：諏訪神社、伊勢の宮、高麗橋（西山ダム下流公園内）
- 川の生き物：カワムツ、トウヨシノボリ、モクズガニ、テナガエビ
- その他の生き物：ハクセキレイ、キセキレイ他野鳥類、ゲンジボタル

アクセス
長崎県営バス、西山木場行きで終点下車

場所	長崎市木場町　木場町公民館下
流域	西山木場付近を源流に、西山ダムを通り伊勢町で中島川に合流する。
川の紹介	上流部の木場公民館付近では、5月中旬頃にはたくさんのホタルが飛び、地元の方々によるホタルまつりもおこなわれ、多くの市民で賑わっている。ダム下流の公園内には、もともと中島川上流部の伊勢町、八幡町間に架けられていた長崎市の指定有形文化財である石造アーチ橋の高麗橋が移築復元されている。
活動グループ	木場町自治会
森川里海塾コメント	地元の方のホタルを守る活動に感謝します。

ホタルの里　西山ダムと高麗橋　ホタルまつり

15 銅座川（どうざがわ）・小島川：中島川水系

よみがえれ石だたみの川

- 催物等：ランタンフェスティバル（2月）
- 近隣の名所等：崇福寺、新地中華街、出島
- 川の生き物：テナガエビ、ウナギ
- その他の生き物：－

テナガエビ　白糸の滝

アクセス

場所	長崎市街　銅座町周辺　上小島　高平町
流域	長崎市内八ツ尾町付近と田上付近を源流とする2本の川が、愛宕、小島と山手の住宅地を流下し、市街地の思案橋、銅座、新地中華街を通って、史跡出島の傍で中島川に合流する川。かつては玉帯川と呼ばれていたが、現在は銅座川・小島川と呼ばれている。
川の紹介	江戸時代中期までの銅座川は思案橋付近が河口で、丸山遊女は丸山の裏口から丸山オランダ坂を下り、思案橋付近から船に乗って出島に通ったといわれている。その後の埋め立てにより銅座川は新地付近まで延長され、昭和初期に現在のように中島川に合流された。正覚寺下から銅座市場までは暗渠になっており、銅座区間のうち思案橋から下流には明治時代に築造されたと思われる石だたみの水路がねむっている。高平町より上流は江戸時代「高野平」と呼ばれた景勝地で約すの水車があったそうだ。小島川上流の白糸バス停付近には江戸時代の名勝「白糸の滝」がある。
活動グループ	川さるく　森川里海塾
森川里海塾コメント	貴重な土木遺産としての石だたみ水路を活かした市街地のまちづくりが望まれる。

石だたみ水路（銅座川暗渠の中）　小島川上流　セキショウ

16 （通称）通都川（つうつうがわ）　八郎川上流域

長崎の一番ボタル

- 催物等：ほたる鑑賞会（5月）　古賀植木市
- 近隣の名所等：船石のタブの木（樹齢200年以上）、古賀の藤棚、古賀人形
- 川の生き物：カワムツ、トウヨシノボリ、モクズガニ、テナガエビ
- その他の生き物：ゲンジボタル、ヘイケボタル

カワニナ

アクセス
船石入り口から、車で5分

場所	長崎市中里町
流域	通都川は、東長崎地区の船石町から、中里町を流れる八郎川の上流部
川の紹介	ホタルの餌となるカワニナが多くゲンジボタルの生息環境が整っており、3月終わり頃の夜間、ぼんやり光る昨年のゲンジボタルの幼虫が川の中から上陸のために、護岸をよじ登る姿は感動的。4月下旬には長崎市内で一番早くホタルが飛び、川沿いに桜並木やセンダンの木々が配置され、ホタルの光とマッチした独特の風情がある。
活動グループ	通都川ほたるの会（川の清掃）
森川里海塾コメント	これからも長崎の一番ボタルを地元の皆さんで守り育ててください。

モクズガニ

ゲンジボタル　ホタル発生地　ホタルの鑑賞（上流部）

17 現川川（うつつがわかわ）：八郎川水系

山間地を流れる清流

- 催物等：－
- 近隣の名所等：現川焼の陶窯跡（県指定史跡）
- 川の生き物：アユ、カワムツ、テナガエビ
- その他の生き物：ゲンジボタル

アオハダトンボ

アクセス
長崎方面からは、国道34号を矢上から左折し、川沿いに上流のJR現川駅方面へ

場所	長崎市現川町
流域	現川町の山間部を源流に、JR長崎本線下、長崎自動車道下を流下し、八郎川に合流する川。
川の紹介	上流部は、長崎自動車道が川の上空を横切り、田園風景とマッチした景観も見る価値が高い。この川にはカワニナがたくさん生息しており、5月下旬になるとゲンジボタルが飛んでいる。また、長崎自動車道のトンネル工事の際の湧水を今でも自由に汲むことができる場所がある。JR長崎本線鉄橋付近は水に親しめる遊歩道などが整備されている。
活動グループ	現川川をきれいにしよう会（川の清掃）
森川里海塾コメント	JR高架下の川に素敵な遊歩道が出来ました。大切に守って下さい。

レンゲソウ

月川公園　春の現川　ホタルの里

18 間ノ瀬川（まのせがわ）：八郎川水系

滝と紅葉の名所

- 催物等：古賀植木まつり
- 近隣の名所等：滝の観音、甲崎のケンボナシ（県指定天然記念物）
- 川の生き物：タカハヤ、カワムツ、ドジョウ、モクズガニ、テナガエビ
- その他の生き物：ハクセキレイ、キセキレイ他野鳥類

アクセス
国道34号線饗入り口より長与方面へ

場所	長崎市平間町　滝の観音周辺
流域	平間町の長崎バイパス付近を源流とし、山間部を流れ八郎川に合流する川。
川の紹介	平間町の山間部を流れる川で、中流には長崎市内では珍しい高さ30mの滝があり、谷川の水辺ではキセキレイやカワセミ等野鳥が多く生息している。この滝に由来する滝の観音は、県指定名勝に第1号として指定され、苔むした境内には独特の石仏や山門、鐘楼などが点在し幽玄な雰囲気が漂う。また、秋には美しい紅葉が見られる。
森川里海塾コメント	滝の観音と川が一体となった良好な自然環境を、いつまでも残したいところです。

ドジョウ

秋の紅葉　滝の観音付近　滝の観音の滝

19 時津川（ときつがわ）

市街地で自然の残る川

- 催物等：－
- 近隣の名所等：さばくさらかし岩、文化の森公園、とぎつカナリーホール、亀岳稲荷神社
- 川の生き物：ゲンジボタル、オイカワ、フナ、カワムツ
- その他の生き物：ベニトンボ（長崎県で初めて確認された）、ゲンジボタル、カワセミ、アオサギ

ベニトンボ　カワセミ

アクセス
長崎方面からは、時津町「浜田」から左に入る、時津公民館横

場所	西彼杵郡時津町本村郷　時津公民館から上流
流域	長崎市の琴尾地区を源流とし、付近からは田畑部の琴尾に沿って流下し、市街地を通って時津港（大村湾）にそそいでいる川。
川の紹介	市街地を流れる川としては自然が残った川で、支流の渓も見えるところにある。最近では、ゲンジボタルが飛翔したり、サワガニが中流域で見つかるなど、水質改善のきざしがみられる。カワムツやフナなどの魚類も多く見られ、県内の河川の中では中下流域で瀬が少ないこともこの川の特徴。
活動グループ	時津小学校、元村二老人クラブ　コミュニティー時津（清掃活動等）
森川里海塾コメント	時津川の川の改修では、住民と行政の協働による川づくりができることを期待します。

中流付近　オイカワ　清掃活動

20 野田川（のだがわ）：時津川水系

昔ながらの田園風景の広がる川

- 催物等：－
- 近隣の名所等：文化の森公園、ときつカナリーホール
- 川の生き物：メダカ、ヒメタニシ
- その他の生き物：ゲンジボタル、ベニトンボ

ヒメタニシ、カワニナ、シジミ

アクセス
長崎方面からは、国道206号線時津町ヤマダ電機手前の交差点を左折、約1km

場所	西彼杵郡時津町野田郷
流域	上流には飛石等（堰堤）が設置されており、ここから流末付近の田園や宅地の中を流下し、時津川の汽水域で合流している。
川の紹介	川幅3～4mで水量も少ないが、水辺に近づける親水性の階段なども設置しており、地元の子供たちが水遊び場として利用している。6月にはゲンジボタルが飛び交う姿が見られる。地元の小中学校では、ホタルを飼育し、放流する取り組みを行っています。住宅地に在りながら昔ながらの里の風景がみられる。
森川里海塾コメント	のどかな田園風景の中にホタルが飛ぶ風景をいつまでも残したいですね。

上流部　中流部　ホタル発生地

21 長与川（ながよがわ）

みかんの郷を流れる川

- 催物等：長与川まつり（8月）
- 近隣の名所等：中尾城公園（長与城跡）、琴尾岳公園、みかんの郷
- 川の生き物：カワムツ、エビ類、オニヤンマのヤゴ
- その他の生き物：ゲンジボタル、カゲロウ類、ツチガエル

ツチガエルのオタマジャクシ

アクセス
長与町中心部から伊木力町方面へ、途中右折し長与ダムへ

場所	西彼杵郡長与町本川内郷　長与ダム上流
流域	琴ノ尾岳を水源とし、長与町内を縦断して中心部を通り大村湾にそそぐ川である。
川の紹介	長与ダム上流の三根原水源付近では、3,000万年前の古い地層の露頭が川床に見られる。川の上流部には長与ダムがあり、春には堤湖の花が綺麗である。ダムに流れ込む場の付近ではゲンジボタルが飛んでおり、上流ではメダカも生き、八幡宮などもあり昔ながらの護岸を活かした護岸が特徴的である。11月のメダカ池には、ツチガエルのオタマジャクシ、メダカ、カワニナが生息していた。上流の両岸の斜面にはみかん畑が広がっており、県内有数のみかんの産地でもある。長与川親水公園では、川に下りて水に親しむことができるよう川の中に遊歩道が設置されている。
活動グループ	長与川源流・里を守る会、緑のながよ・町づくり（清掃活動、ホタル）
森川里海塾コメント	ホタルを大切に育ててください。

長与ダムと上流　メダカ池　長与川中流の河岸

22 江川・高浜海水浴場　長崎市高浜町（旧野母崎町高浜）

アカウミガメ産卵場と子亀

野母崎地区鯛ノ浦付近を源流として、高浜ダムを経由して高浜海水浴場横に注ぐ川で、河口付近には田園風景が広がっており、シラサギやコサギなどが飛んでいる風景が見られる。高浜海水浴場からは、目の前に端島（軍艦島）を見ることができ、H21年春にはアカウミガメの産卵が確認されている。残念ながら、河川の改修により河口付近でテングサを干す風情のある風景が見られなくなった。

サギ類

23 江川川　長崎市江川町（長崎市えがわ運動公園横）

親水護岸

長崎市宇山郷から宇津町、江川町の稲荷小学校、土井の首中学校横を通って宇宙町の長崎港口に注ぐ川で、えがわ運動公園内では親水護岸が親水性に富んでおり子供たちが川の中で遊ぶ姿が見られる。近年は自治会の努力で5月下旬にはホタルの飛ぶ姿が見られるようになった。

水遊び

24 太田尾川（山川河内）　長崎市太田尾町

ホタル発生地

山川河内川中を源流として、橘湾に注ぐ川で、県道野母崎線と太田尾川が交差する。山川河内地区のホタルの里付近では、毎年4月初旬の小雨の日に、たくさんのゲンジボタルの幼虫が上陸する幻想的な姿を見ることができる。海岸に近い河口域でもホタルの乱舞がみられる等、長崎市内でも有数のゲンジボタルの発生地。

ホタル看板

1 鹿尾川（かのおがわ）

自然がいっぱいで川遊びができる川

催物等	鬼火（1月） ホタルまつり（6月）
近隣の名所等	鳴瀧山観音寺（滝）
川の生き物	カワムツ、テナガエビ、カワアナゴ、アユ、モクズガニ、エビ類　等
その他の生き物	鳥類、昆虫類、植物が豊富に生息

アクセス

長崎バス　土井ノ首バス停から川沿いに徒歩10分位
土井ノ首バス停信号から野母崎方面へ次の信号を左折約1km

場　所	長崎市三和町、古道町　三和橋より上流部鹿尾ダムまで
流　域	長崎半島中央部の烏帽子岩付近から小ヶ倉ダム、新戸町の住宅地を通る川と、八郎岳付近を源流とする2本の川が鹿尾ダムで合流し、長崎港口にそそぐ川
川の紹介	鹿尾ダム下流の約1km余りの区間は自然の護岸が残っており、長崎で一番自然が残った川。木漏れ日の下の散策は最高。 古くからホタルの生息地として知れており、6月初めには川の上のゲンジボタルと、林の中のヒメボタルが同じ場所で見られ、幻想的な風景が広がっている。 夏には子供たちが川遊びを楽しんでいる。 川沿いはウォーキング、ジョギング、サイクリングのコース。
活動グループ	**三和町ふるさとづくり委員会** （川の清掃、環境保全活動、子供の環境学習等）
森川里海塾コメント	長崎で一番自然の残った川を地元だけでなく、市民みんなで守っていきましょう。

ゲンジボタルとヒメボタルの生息地

木漏れ日の射す川

川遊び

2 大川・八郎大川（おおかわ・はちろうおおかわ）

八郎岳からの清流が流れる川

催物等	—
近隣の名所等	元宮公園、市民農園、えがわ運動公園
川の生き物	カワムツ、テナガエビ、モクズガニ、エビ類　等
その他の生き物	野鳥類、昆虫類、セキショウ、クレソン等の植物が豊富

アクセス

長崎バス　平山バス停から市民農園方面へ5分
国道499号　平山バス停から左折約200m

場所	長崎市平山町
流域	八郎岳の南側を源流として、山間部から平山町の住宅地、布巻町の元宮公園横を経由して天草灘にそそぐ川
川の紹介	平成14年、長崎市の「よみがえる川整備事業」により、川の落差工の撤去等多自然川づくりの河川改修がなされ、自然がいっぱいの川となっている。 八郎岳から流れ出る、清らかな水の流れとせせらぎの音は心をいやしてくれる。5月下旬にはホタルの飛翔も見られるようになった。 この川の上流には、市民農園があり長崎市民の楽しみの場となっている。 シラサギ、カワセミ等野鳥が多く見られる。
森川里海塾コメント	よみがえった自然の川を、地元の皆さんで守り育ててください

キセキレイ

改修された川（下流）

改修された川（中流）

セキショウ

3 大川・為石大川（おおかわ・ためしおおかわ）

P （元宮公園内）

公園に隣接した自然いっぱいの川

催物等	5月に鯉のぼりを揚げる
近隣の名所等	元宮公園には展望台、芝生広場があり家族連れで楽しめる。 衣笠球場、直売所みさき駅さんわ 川原海水浴場、岳路海水浴場、阿知姫の湯
川の生き物	アユ、カワムツ、テナガエビ、モクズガニ、エビ類　等
その他の生き物	野鳥類、菜の花、クレソン等

アクセス

長崎バス　野母崎、脇岬、川原方面行
元宮公園又は栄上バス停下車すぐ
国道499号線野母崎方面へ、布巻町三和中央病院横から入る

場所	長崎市為石町　元宮公園隣接
流域	八郎岳の南側を源流として、山間部から平山町の住宅地、布巻町の元宮公園横を経由して天草灘にそそぐ川
川の紹介	八郎大川の下流でアユやカワムツ等川の生き物が多い 衣笠球場横から三和中学校まで川沿いに遊歩道があり、自然の中の散策路、ジョギングのコースとなっている。 春には元宮公園で桜やツツジが楽しめ、5月下旬にはホタルも飛んでいる。 為石町から県道34号線を茂木方面へ約4km程の藤田尾町の山中には、まぼろしの滝といわれる津々谷の滝（つづやのたき）がある。
活動グループ	**川辺を大切に美しくする会** （川の清掃活動、ホタルの生息環境保全）
森川里海塾コメント	きれいな川と周辺の施設が一体となって楽しめるような場所として、環境を守っていきましょう。ホタルの時期のナイター照明を何とかしたいですね。

鯉のぼり

川掃除

川原

4 宮崎川（みやざきがわ）

梅林のある河川公園

ガマ

催物等	海水浴
近隣の名所等	宮崎ダム公園、川原海水浴場、川原大池 ビワの産地で有名、花卉栽培が盛ん
川の生き物	ゲンジボタル、タケノコカワニナ
その他の生き物	野鳥類、ガマ

アクセス

長崎バス　川原行→宮崎下車　宮崎ダムへ
国道499号線を野母崎方面へ、旧三和町栄上三差路を左為石方面へ、為石交差点を川原方面へ右折、宮崎橋を渡ってすぐ右折川沿いに上流へ宮崎ダム手前

場所	長崎市宮崎町（旧三和町宮崎）宮崎ダム及び下流
流域	長崎半島南部、旧三和町宮崎の山中から流れ出た川は、長崎県内では珍しいアース式ダムの宮崎ダムを経由し、川原海水浴場近くの天草灘にそそぐ川
川の紹介	宮崎ダム下で5月下旬ごろ数百匹のホタルが乱舞する。 川の周囲は公園になっており、梅林、桜、ツツジがある。 川の水深は浅く小さい子供でも水遊びができる。（ふれあいの水辺） 下流にはガマが繁茂し、体調が5cm以上もあるタケノコカワニナが生息しており一見の価値あり（写真）
森川里海塾コメント	梅林の梅の木が大きくなるのが楽しみです。 川の周辺の草刈は大変ですが、頑張ってください。

タケノコカワニナ

宮崎ダムと公園

宮崎ダム下の梅林

川原大池

5 黒崎永田湿地自然公園・川下川（くろさきながたしっちしぜんこうえん・かわしもがわ）

全国でも珍しい湿地公園

近隣の名所等　遠藤周作文学館、大城公園、夕陽が丘そとめ、ド・ロ神父記念館、出津教会、黒崎教会、大中尾棚田、県民の森、次兵衛岩

施　設　休憩所（園内観察資料有り）、野鳥観察施設

川の生き物　メダカ、エビ類、ミズカマキリ、ニホンアカガエル、ドジョウ

その他の生き物
- 野草類　デンジソウ、ガマ、ヒメガマ、セリの群生、ミズオオバコ
- 昆虫類　ヘイケボタル、ショウジョウトンボ、ハラビロトンボ、ギンヤンマ
- 野鳥類　ヒクイナ、サギ類、ツグミ、オオジュリン

アクセス

長崎駅より長崎バスさくらの里ターミナル行き終点まで50分、下車後さいかい交通に乗り換え、板の浦行き「永田浜バス停」まで15分、下車後徒歩5分。
国道202号線を旧外海町方面へ、新長崎漁港、三重経由黒崎町手前。

場　所	長崎市永田町（旧外海町）
流　域	西彼杵半島の山間部から流れ出た川は、下流の永田地区で水田と一体となって湿地を形成している。
川の紹介	元々の水田が湿地化したところを旧外海町が、恵まれた自然景観を保全しながら子供から大人まで、本物の自然を体験できる環境学習の場として整備したところ。園内の木道を巡りながら、植物や生物を間近に見たり、触れたりすることができる。川下川の下流は湿地と一体になっており、市内では珍しい自然環境となっている。 現在希少種となったメダカやデンジソウなどの動植物やトンボ、チョウなど多彩な昆虫類が多く生息し、特にトンボの生息地として高い評価を受けている。長崎では数少ないヘイケボタルの生息地で6月中旬ごろから飛翔する。
森川里海塾コメント	長崎市内には珍しい湿地公園です。大切にしましょう。

メダカ

公園入り口と木道

公園内湿地

ハラビロトンボ

6 神浦川（こうのうらがわ）

子供から大人まで川遊びができる川

催物等	鯉・来い祭り（5月）、棚田かかし祭り
近隣の名所等	遠藤周作文学館、夕陽が丘そとめ、ド・ロ神父記念館、出津教会、黒崎教会、大野教会、大中尾棚田、県民の森、次兵衛岩、黒崎永田湿地自然公園
川の生き物	カワムツ、テナガエビ、アユ、モクズガニ、メダカ、エビ類、カワアナゴ
その他の生き物	ゲンジボタル、カゲロウ類、トンボ類、野鳥類等

アクセス

長崎方面からは国道202号線を大瀬戸方面へ、新神浦橋の手前を右に入り約500m

場所	長崎市神浦（旧外海町神浦）神浦川河川公園
流域	西彼杵半島中央部長浦岳と三方山を源流とする2本の川が神浦ダムで合流し、山間部を流れ角力灘へそそぐ
川の紹介	神浦ダムの下流に河川公園が整備され、子供から大人まで川に入って楽しめる川づくりがされている。 川は水深が浅く、子供たちがテナガエビや小魚を捕って遊んでいる。 小さい子供が遊べる川のプールもあり、夏にはたくさんの家族連れでにぎわっている。 5月には鯉のぼりや、下旬にホタル見物が楽しめる。上流にはダムや公園があり、春の桜、秋の紅葉が楽しめる
活動グループ	**神浦川愛好会**
森川里海塾コメント	夏には子供たちが川遊びを楽しみにしている場所です。大切にしましょう。

鯉・来い祭り

神浦川河川公園

子供プール

7 河通川（ごうつうがわ）：雪浦川水系

駐車場…河川周辺の空き地利用
トイレ…小田貝塚古墳トイレ利用可

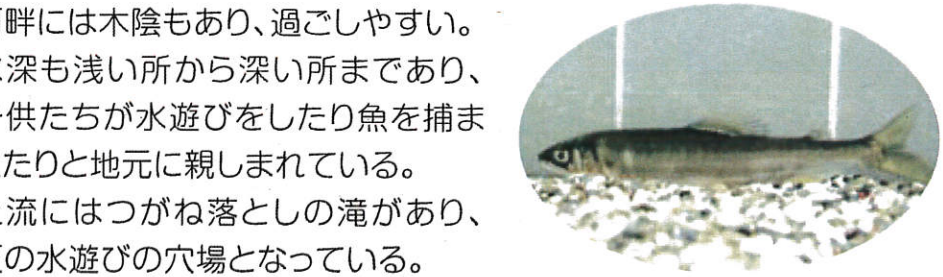
川遊びの穴場スポット

催物等	－
近隣の名所等	幸物河川公園、県民の森、音浴博物館、小田貝塚古墳 つがね落としの滝、雪浦海水浴場
川の生き物	カワムツ、アユ、メダカ、テナガエビ他エビ類、モクズガニ
その他の生き物	ゲンジボタル、トンボ類、野鳥類等

アクセス

国道202号線を大瀬戸方面へ、雪川橋手前を右に入る約1km

場所	西海市大瀬戸町雪浦
流域	長崎県民の森付近を源流として山間部を流れ、雪浦川の河口付近で合流している。
川の紹介	きれいな水と川を利用したプールや階段が整備されており、子供の水遊びに最適。 河畔には木陰もあり、過ごしやすい。 水深も浅い所から深い所まであり、子供たちが水遊びをしたり魚を捕まえたりと地元に親しまれている。 上流にはつがね落としの滝があり、夏の水遊びの穴場となっている。
森川里海塾コメント	自然がたくさん残った場所です。この自然はいつまでも大切に残しましょう。



アユ

川のプール

川遊び

ツガネ落しの滝

8 雪浦川（ゆきのうらがわ）

河口域にはトイレ、駐車場無し（河川周辺の空き地利用）
幸物河川公園　トイレ、駐車場有り

昔懐かしい河口干潟の残る川

催物等	幸物川まつり
近隣の名所等	県民の森、音浴博物館、小田貝塚古墳 つがね落としの滝、雪浦海水浴場
川の生き物	アユ、フナ、ウナギ、テナガエビ、 モクズガニ、エビ類
その他の生き物	海浜植物のハマボウ、 ゲンジボタル、 トンボ類、野鳥類等

ハクセンシオマネキ

アクセス

国道202号線を大瀬戸方面へ、
雪川橋を渡って右に入る約1km

場所	西海市大瀬戸町雪浦
流域	西彼杵半島中央部長浦岳付近を源流として雪浦ダムへ流れ込み、ダム下流を緩やかに流下し角力灘に注ぐ川。河口幅は約100mと広く、感潮域は約4kmにも及ぶ
川の紹介	昔はどこにでもあった河口干潟の原風景が今も残っており、広くゆったりした川の景観や周辺の水田、山並みなど自然を満喫できる素晴らしい景色が広がっている。 干潟では、地元の人がハマグリを採取している姿が河川景観に色を添えている。そのまま残したい風景。 干潟にはホウジョウミナやハマグリ等の貝類や、ハクセンシオマネキが生息している。中でもハクセンシオマネキは県内でも珍しく、6月から7月には求愛行動のウェービング（ハサミフリ）が見られる。 上流には雪浦ダムがあり、その上流には幸物（こうぶつ）河川公園があり、家族連れで川遊びが楽しめる
森川里海塾コメント	河口干潟はいつまでも残したい貴重な風景です。

河口の干潟

幸物河川公園

幸物河川公園

9 多以良川・柳の浜海水浴場（たいらがわ・やなぎのはま）

ホタルの乱舞する川と美しい砂浜

催物等　ー

近隣の名所等　七ツ釜鍾乳洞、柳の浜海水浴場

川の生き物　アユ、カワムツ、テナガエビ、モクズガニ、エビ類　等

その他の生き物　ゲンジボタル

アクセス

長崎方面からは、国道202号線を西海市へ大瀬戸町板浦トンネルを出てすぐ右折し、川沿いに上流へ約1km

場所	西海市大瀬戸町多以良
流域	西彼杵半島北部の山中を源流として流下し、西海市板浦トンネル口付近の田園地帯を大きくカーブして北へ流れ、柳の浜海水浴場付近にそそぐ川
川の紹介	アユやモクズガニなどの遡上を助ける為の魚道が整備されており、上流部でもその姿を見ることができる。川の流域は田畑が広がり自然豊かな景観がみられる。 上流部にはホタルの生息環境を守る為にホタルの里が整備され、5月下旬になるとたくさんのホタルが飛ぶ姿が見られる。 【柳の浜海水浴場（多以良川河口）】 青い海原に砂浜が広がり、遠くに大島大橋を望む景色は絶景。
森川里海塾コメント	地元の皆さんでゲンジボタルが生息できる環境を守り育ててください。

モクズガニ

ホタルの里河川公園

魚道

柳の浜海水浴場

10 戸根川（とねがわ）

桜並木とホタルがみられる清流

カキツバタ

催物等	ほたるまつり
近隣の名所等	赤水公園、県民の森
川の生き物	アユ、カワムツ、ウナギ、コイ、ウキゴリ、シロウオ(河口)、ミゾレヌマエビ
その他の生き物	ゲンジボタル、セキショウ

アクセス

国道206号線を西海市方面へ、青果市場手前から左折約500m

場所	長崎市琴海戸根町
流域	西彼杵半島中央部に位置する中ノ岳や長浦岳付近を源流とし、上流域では照葉樹林内を、中下流域では水田地帯を流下し、大村湾に注いでいる。
川の紹介	国道206号線から上流部では、地元住民によるほたるの郷づくりが進められ5月下旬にはゲンジボタルが乱舞し、長崎周辺では一級の観賞場所となっている。河口付近から護岸上にはサクラが植栽されており、4月の開花時には桜並木となり、花見をしながらの散策に最適。 上流部には自然石を用いた川の護床や飛び石を設置するなど、自然と調和した川づくりが行われ、子供たちが川遊びできるよう整備されている。また、水辺には昔ながらの水流を利用したゴットン小屋（精米所）が復元されている。
活動グループ	**戸根川ほたるの郷実行会**
森川里海塾コメント	下流の桜、中流域のホタル、上流の自然の水遊び場どれも残したい風景です。地元の皆さんの努力に感謝します。

ほたるの郷付近

ほたるの郷 上流

ゴットン小屋

11 浦上川（うらかみがわ）

サックスのモニュメントのある
大橋公園にトイレ有

アユが遡上する市街地の川

アオサギ

催物等　原爆の日に「万灯流し」

近隣の名所等　平和公園、如己堂、浦上天主堂

川の生き物　ナマズ、ウナギ、アユ、オイカワ、テナガエビ

その他の生き物　サギ類、カワセミ、ゲンジボタル

ヤナギバスズムシソウ

アクセス

電車　赤迫方面行　岩屋橋電停下車浦上警察署方向へ
約5分

場　　所	長崎市　大橋町
流　　域	長崎市の北東部畦別当の前岳付近を水源とし長崎バイパス沿いに犬継、川平と山間を経ながら流下し、大手町付近で北部横尾地区を源流とする大井手川、三川地区を源流とする三川川と合流して市街地を緩やかに流れて長崎港の最深部にそそぐ。
川の紹介	市内で最大の川で、大橋付近には川の中に遊歩道が整備されている。近年は川の水質が改善され、アユの遡上も見られるようになっており、ナマズをはじめ、テナガエビなどを観察できる。 原爆では数千人の方々が水を求めてこの川で亡くなられた。 戦前につくられた石積み護岸は被爆遺構であり、一部は長崎大水害にも耐えて、今も残されている。上流の川平地区では閃緑岩の露頭が見られ、5月にはゲンジボタルが飛んでいる。又、支流の三川川上流には修業場として有名な醍醐の滝がある。
活動グループ	川に学ぼうかい in 浦上川
森川里海塾コメント	ビニールゴミ等も多く、地元の活動グループが苦労しています。みんなの協力できれいな川にしましょう

大橋付近

ホタルの里（川平地区）

醍醐の滝

12 下の川（しものかわ）：浦上川水系

（平和公園地下駐車場:有料）

平和を祈念する安らぎのある川を目指して

催物等	平和町商店街夏祭り（7月）
近隣の名所等	平和公園、平和祈念像、長崎原爆資料館、長崎原爆死没者追悼平和祈念館、浦上天主堂、如己堂
川の生き物	アユ、カワムツ、トウヨシノボリ
その他の生き物	セキショウ

アクセス

【平和町区間】県営バス　平和公園下バス停下車徒歩1分（平和公園横）

場所	長崎市平和町　平和公園東側入口付近
流域	西山町付近を源流として平和公園横をとおり、平和町で浦上川に合流する典型的な都市河川。
川の紹介	平成15年、長崎市の「よみがえる川整備事業」としてコンクリートの川底を撤去するなど多自然川づくりによる河川改修が行われ、川の中の自然が回復している。 現在では、セキショウが繁茂しアユやカワムツの生息も確認され、地域住民や観光客の癒しの空間となっており、平和公園と一体となった安らぎのある風景を創り出している。
活動グループ	**平和町商店街**（川の清掃）、**地球村の子ども**
森川里海塾コメント	よみがえった川を地元の皆さんの手で守り育てる取り組みを期待します。

カラスアゲハとヒガンバナ

原爆公園付近

平和公園東側（改修後）

平和公園東側（改修前）

13 中島川・御手水川（なかしまがわ・おちょうずがわ）：中島川水系

P（有料）

日本一の石橋群が架かる川

催物等	ランタンフェスティバル
近隣の名所等	石橋群、出島和蘭商館跡、諏訪神社、シーボルト記念館、亀山社中
川の生き物	アユ、カワムツ、オイカワ、ナマズ
その他の生き物	ゲンジボタル

ナマズ

アクセス

御手水川

国道34号線日見バイパス西口を日見トンネル方面へ入り、約500m先を左折橋を超えて右折し、約300m

場所	長崎市市街地・本河内水源地上流、日見街道下
流域	本河内の山間部と日見峠を源流として本河内水源地に流れ込む中島川本流（御手水川）が、諏訪神社下で西山川と合流し、市街地の石橋群の下を通り史跡出島の北から長崎港にそそぐ川。本河内水源地は明治時代に出来た日本最古の水道専用ダム。
川の紹介	中島川に架かる石橋群が有名で多くの観光客が訪れている。映画「長崎ぶらぶら節」で知られるようになった蛍の名所「蛍茶屋」が有り、その地名が今も電車の終点として昔のなごりを残している。 長崎大水害で壊滅的な打撃を受けたが、現在では石橋群の復元や、河川改修も終わり水質も改善されたことからアユの遡上も見られるようになっている。毎年2月のランタンフェスティバルでは、水面に写ったランタンが美しい夜景を作り出し、新たな観光のスポットになっている。 【御手水川】 中島川の上流、本河内水源地に流れ込む川で5月中旬にはゲンジボタルが見られる。平成元年4月環境庁から「ふるさといきものの里」に認定されている。
活動グループ	**伊良林小学校ホタルの会**
森川里海塾コメント	長崎の観光名所の川です。 ゴミのないきれいな川にしましょう。

中島川の石橋群

眼鏡橋とランタンフェスティバル

本河内低部ダム（明治）

14 西山川（にしやまがわ）：中島川水系

ホタルの里

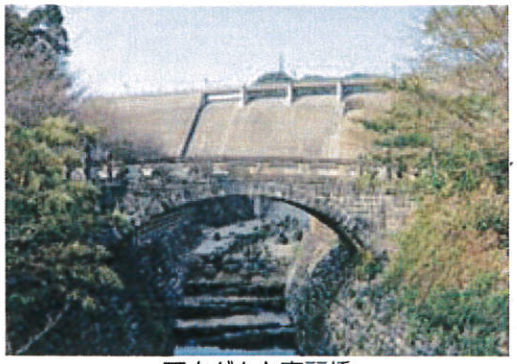
催物等	ホタルまつり
近隣の名所等	諏訪神社　伊勢の宮 高麗橋（西山ダム下流公園内）
川の生き物	カワムツ、トウヨシノボリ、モクズガニ、テナガエビ
その他の生き物	ハクセキレイ、キセキレイ他野鳥類、ゲンジボタル

アクセス

長崎県営バス、西山木場行きで終点下車

場所	長崎市木場町　木場町公民館下
流域	西山木場付近を源流に、西山ダムを通り伊勢町で中島川に合流する。
川の紹介	上流部の木場公民館附近では、5月中旬頃にはたくさんのホタルが飛び、地元の方々によるホタルまつりがおこなわれ、多くの市民で賑わっている。 ダム下流の公園内には、もともと中島川上流部の伊勢町、八幡町間に架けられていた長崎市の指定有形文化財である石造アーチ橋の高麗橋が移築復元されている。
活動グループ	木場町自治会
森川里海塾コメント	地元の方のホタルを守る活動に感謝します。

ホタルの里


西山ダムと高麗橋

ホタルまつり

15 銅座川（どうざがわ）・小島川：中島川水系

よみがえれ 石だたみの川

テナガエビ

催物等	ランタンフェスティバル（2月）
近隣の名所等	崇福寺、新地中華街、出島
川の生き物	テナガエビ、ウナギ
その他の生き物	―

白糸の滝

アクセス

場所	長崎市街　銅座町周辺　上小島　高平町
流域	長崎市内八ツ尾町付近と田上付近を源流とする2本の川が、愛宕、小島と山手の住宅地を流下し、市街地の思案橋、銅座、新地中華街を通って、史跡出島の東で中島川に合流する川。かつては玉帯川と呼ばれていたが、現在は銅座川・小島川と呼ばれている。
川の紹介	江戸時代中期までの銅座川は思案橋付近が河口で、丸山遊女は丸山の裏口から丸山オランダ坂を下り、思案橋付近から船に乗って出島に通ったといわれている。その後の埋め立てにより銅座川は新地付近まで延長され、昭和初期に現在のように中島川に合流された。正覚寺下から銅座市場までは暗渠になっており、暗渠区間のうち思案橋から下流には明治時代に築造されたと思われる石だたみの水路がねむっている。高平町より上流は江戸時代「高野平」と呼ばれた景勝地で8つの水車があったそうだ。小島川上流の白糸バス停付近には江戸時代の名勝「白糸の滝」がある。
活動グループ	川さるく　森川里海塾
森川里海塾コメント	貴重な土木遺産としての石だたみ水路を活かした市街地のまちづくりが望まれる。

石だたみ水路（銅座川暗渠の中）

小島川上流

セキショウ

16 (通称) 通都川 (つうつうがわ)　八郎川上流域

長崎の一番ボタル

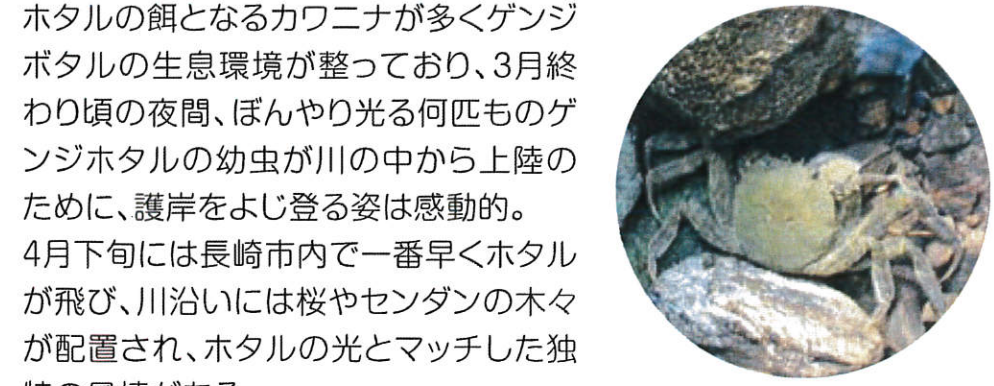
催物等	ほたる鑑賞会(5月)　古賀植木市
近隣の名所等	船石のタブの木（樹齢200年以上） 古賀の藤棚、古賀人形
川の生き物	カワムツ、トウヨシノボリ モクズガニ、テナガエビ
その他の生き物	ゲンジボタル ヘイケボタル

カワニナ

アクセス

船石入り口から、車で5分

場所	長崎市中里町
流域	通都川は、東長崎地区の船石町から、中里町を流れる八郎川の上流部
川の紹介	ホタルの餌となるカワニナが多くゲンジボタルの生息環境が整っており、3月終わり頃の夜間、ぼんやり光る何匹ものゲンジホタルの幼虫が川の中から上陸のために、護岸をよじ登る姿は感動的。 4月下旬には長崎市内で一番早くホタルが飛び、川沿いには桜やセンダンの木々が配置され、ホタルの光とマッチした独特の風情がある。
活動グループ	**通都川ほたるの会**（川の清掃）
森川里海塾コメント	これからも長崎の一番ボタルを地元の皆さんで守り育ててください。


モクズガニ

ゲンジボタル

ホタル飛翔地

ホタルの乱舞（5月初頃）

17 現川川（うつつがわかわ）：八郎川水系

山間地を流れる清流

催物等	ー
近隣の名所等	現川焼の陶窯跡(県指定史跡)
川の生き物	アユ、カワムツ、テナガエビ
その他の生き物	ゲンジボタル

アオスジアゲハ

アクセス

長崎方面からは、国道34号を矢上から左折し、川沿いに上流のJR現川駅方面へ

場所	長崎市現川町
流域	現川町の山間部を源流にJR長崎本線下、長崎自動車道下を流下し、八郎川に合流する川。
川の紹介	上流部は、長崎自動車道が川の上空を横切り、田園風景とマッチした景観も見る価値が高い。この川にはカワニナがたくさん生息しており、5月下旬になるとゲンジホタルが飛んでいる。 また、長崎自動車道のトンネル工事の際の湧水を今でも自由に汲むことができる場所がある。 JR長崎本線鉄橋付近は水に親しめる遊歩道などが整備されている。
活動グループ	**現川川をきれいにしよう会**（川の清掃）
森川里海塾コメント	JR高架下の川に素敵な遊歩道が出来ました。大切に守って下さい。

レンゲソウ

河川公園

春の川原

ホタルの里

18 間ノ瀬川（まのせがわ）：八郎川水系

滝と紅葉の名所

催物等	古賀植木まつり
近隣の名所等	滝の観音、平間のケンポナシ（薬師院跡）
川の生き物	タカハヤ、カワムツ、ドジョウ、モクズガニ、テナガエビ
その他の生き物	ハクセキレイ、キセキレイ他野鳥類

アクセス

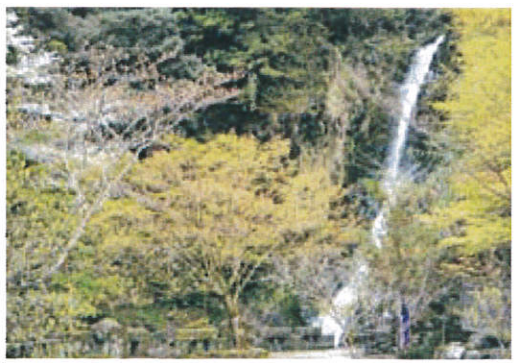
国道34号観音入り口より長与方面へ

場所	長崎市平間町　滝の観音周辺
流域	平間町の長崎バイパス付近を源流とし、山間部を流れ八郎川に合流する川。
川の紹介	平間町の山間部を流れる川で、中流には長崎市内では珍しい高さ30mの滝があり、谷川の水辺ではキセキレイやカワセミ等野鳥が多く生息している。 この滝に由来する滝の観音は、県指定名勝に第1号として選定され、苔むした境内には唐風の石仏や山門、磨崖仏などがあり幽玄な風情が漂う。 また、秋には美しい紅葉が見られる。
森川里海塾コメント	滝の観音と川が一体となった良好な自然環境を、いつまでも残したいところです。

ドジョウ

秋の紅葉

滝の観音付近



滝の観音の滝

19 時津川（とぎつがわ）

市街地で自然の残る川

ベニトンボ

催物等	―
近隣の名所等	さばくさらかし岩、文化の森公園、とぎつカナリーホール、祐徳稲荷神社
川の生き物	ゲンジボタル、オイカワ、フナ、カワムツ
その他の生き物	ベニトンボ（長崎県で初めて確認された）ゲンジボタル、カワセミ、アオサギ

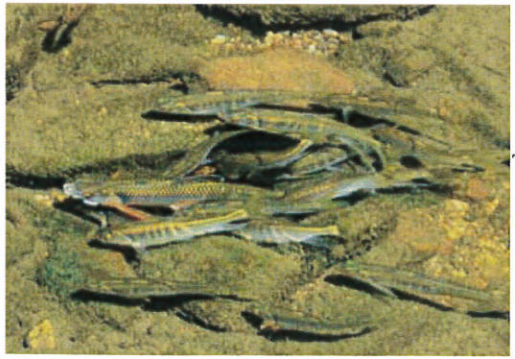
カワセミ

アクセス

長崎方面からは、時津町「浜勝」から左に入る、時津公民館横

場所	西彼杵郡時津町本村郷　時津公民館から上流
流域	長崎市の横尾地区を源流とし、付近からは国道206号線に沿って流下し、市街地を抜けて時津港（大村湾）にそそいでいる川。
川の紹介	市街地を流れる川としては自然が残った川で、交通の便もよいところにある。 最近では、ゲンジボタルが飛翔したり、サワガニが中流域で見つかるなど、水質改善のきざしがみられる。 カワムツやフナなどの魚類も多く見られ、県内の河川の中では中下流域で堰が少ないこともこの川の特徴。
活動グループ	**時津小学校、元村二老人クラブ　コミュニティー時津**（清掃活動等）
森川里海塾コメント	時津川の河川改修では、住民と行政の協働による川づくりができることを期待します。

中流付近



オイカワ

川の清掃

20 野田川（のだがわ）：時津川水系

P ×

昔ながらの田園風景の広がる川

催物等	ー
近隣の名所等	文化の森公園、とぎつカナリーホール
川の生き物	メダカ、ヒメタニシ
その他の生き物	ゲンジボタル、ベニトンボ

ヒメタニシ、カワニナシジミ

アクセス

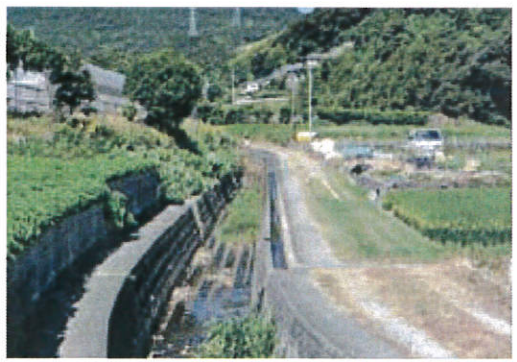
長崎方面からは、国道206号線時津町ヤマダ電機手前の交差点を左折、約1km

場所	西彼杵郡時津町野田郷
流域	上流には下山池（溜池）が築堤されており、ここから時津町の田畑や住宅街の中を流下し、時津川の汽水域で合流している。
川の紹介	川幅3～4mで水量も少ないが、水辺に近づける親水性の階段なども設置してあり、地元の子供たちが水遊び場として利用している。6月には川の周辺を100匹以上のゲンジボタルが飛びかう幻想的な風景が見られる。地元の方や小学校では、ホタルを飼育し、放流する取り組みも行っています。住宅地に在りながら昔ながらの里の風景が見られる。
森川里海塾コメント	のどかな田園風景の中にホタルが飛ぶ光景をいつまでも残したいですね。

シオカラトンボ

下山池

水遊び



ホタル飛翔地

21 長与川（ながよがわ）

みかんの郷を流れる川

催物等	長与川まつり（8月）
近隣の名所等	中尾城公園（長与駅前）、琴尾岳公園、みかんの産地
川の生き物	カワムツ、エビ類、オニヤンマのヤゴ
その他の生き物	ゲンジボタル、カゲロウ類、ツチガエル

ツチガエルのオタマジャクシ

アクセス

長与町中心部から伊木力町方面へ、途中左折し長与ダムへ

場所	西彼杵郡長与町本川内郷　長与ダム上流
流域	琴ノ尾岳を水源とし、長与町内を縦断して中心部を通り大村湾にそそぐ川である。
川の紹介	長与駅上流の三根取水所付近では、3,000万年前の岩石の露頭が川床に見られる。川の上流部には長与ダムがあり、春には堰堤周辺の桜が綺麗である。ダムに流れ込む椎の木川ではゲンジボタルが飛んでおり、上流ではメダカ池、蛍池、八郎池などの自然の地形を活かした風景が特長的である。11月のメダカ池には、ツチガエルのオタマジャクシ、メダカ、カワニナが生息していた。川の両岸の斜面にはみかん畑が広がっており、県内有数のみかんの産地でもある。 長与役場前と長与駅前では、川に下りて水に親しむことができるように川の中に遊歩道が整備されている。
活動グループ	**長与川源流・蛍を守る会、緑のながよ・町づくり**（清掃活動、ホタル）
森川里海塾コメント	ホタルを大切に育ててください。

長与ダムと上流

メダカ池

長与駅付近の遊歩道

22 江川・高浜海水浴場

長崎市高浜町（旧野母崎町高浜）

アカウミガメ産卵地と子亀

野母崎地区殿隠山付近を源流として、高浜ダムを経由して高浜海水浴場横に注ぐ川で、河口付近には田園風景が広がっており、シラサギやコサギなどが飛んでいる風景が見られる
高浜海水浴場からは、目の前に端島（軍艦島）を見ることができ、H21年夏にはアカウミガメの産卵が確認されている。
残念ながら、河川の改修により河口付近でテングサを洗う風情のある風景が見られなくなった。

サギ類

23 江川川

長崎市江川町（長崎市えがわ運動公園横）

親水護岸

長崎市平山町から竿浦町、江川町の南陽小学校、土井の首中学校横を通って平瀬町の長崎港口に注ぐ川で、えがわ運動公園内では親水護岸が階段状になっており子供たちが川の中で遊ぶ姿が見られる。近年は自治会の努力で5月下旬にはホタルの飛ぶ姿が見られるようになった。

水遊び

24 太田尾川（山川河内）

長崎市太田尾町

ホタル飛翔地

山川河内山中を源流として、橘湾に注ぐ川で、県道野母崎・宿線と太田尾川が交差する、山川河内地区のホタルの里付近では、毎年4月初めの小雨の日に、たくさんのゲンジボタルの幼虫が上陸する幻想的な姿を見ることができる。海岸に近い河口域でもホタルの飛翔がみられる等、長崎市内でも有数のゲンジボタルの観賞地。

ホタル看板

長崎 滝の名所

「川さるく　森川里海塾」では、長崎市周辺の川を見てさるく「川さるく」の中で長崎市周辺にいくつかの素晴らしい「滝」を発見しました。地図にも載っていない、これまであまり知られることのなかった滝を紹介します。どの川も、霊場、修行の場として信仰の対象となっている場所です。心静かに訪ねてください。

25 津々谷（つづや）の滝

長崎市藤田尾町

旧三和町為石から千々方面へ約4kmの山中に密かにたたずむ幻の滝。
一筋の水の糸が高さ20mを落下する姿が美しい。

26 鳴瀧山観音寺（なるたきやま）の滝

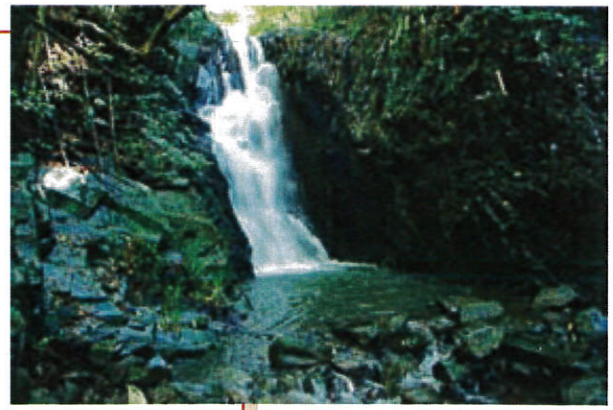
長崎市鹿尾町

鹿尾川の鹿尾ダムの下流にある真言宗の寺院の中にある滝。八十八尺の滝とも呼ばれている。
修行の場としても有名な所。心が洗われてるような水の音が響く。

27 轟（とどろき）の滝

長崎市田手原町

若菜川の上流。甑岩に向かって重籠バス停を過ぎて右に下る。江戸時代の「長崎名勝絵図」にも紹介された名所だが、あまり知られていない幻の滝。
岩肌を滑り落ちる力強い水音が神秘的。



28 滝の観音の滝

長崎市平間町

間の瀬川の上流。矢上から長崎パイパスに向かって登る途中にある通称「滝の観音」。長滝山霊源院の中にある滝。弘法大師が「行」を行ったという日本最古の霊場。春の桜、秋の紅葉が美しい。